

今月の3冊プラス1



医療福祉総合ガイドブック 2016 年度版

編集：NPO 法人日本医療ソーシャルワーク研究会
発行：医学書院 TEL：03-3817-5657
定価：本体 3300 円＋税

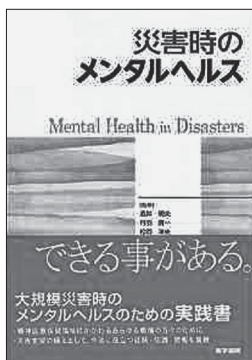
医療・福祉サービスを利用者の生活場面に沿って解説したガイドブックの 2016 年度版。最新情報のフォローや解説の見直しなどで、より理解しやすい内容に刷新された。保健師を含め、医療福祉関係者はぜひ手元に置いておきたい 1 冊。



米軍医が見た占領下京都の 600 日

著：二至村菁
発行：藤原書店 TEL：03-5272-0301
定価：本体 3600 円＋税

米国医ジョン・D・グリスマンが書いた手紙や撮影した写真を通じ、占領下の京都における光と闇を描いたノンフィクション。当時の保健所を撮影したカラー写真も掲載しており、全編を通じて戦後日本の公衆衛生施策の原点を知ることができる。公衆衛生従事者にぜひ読んでほしい。



災害時のメンタルヘルス

監修：酒井明夫、丹羽真一、松岡洋夫
編集：大塚耕太郎、加藤寛、金吉晴、松本和紀
発行：医学書院 TEL：03-3817-5657
定価：本体 3200 円＋税

大規模自然災害における精神医学的対応について、災害発生直後、急性期から中長期までを網羅して解説。最終章では実践編として、医師、保健師、自治体、大学精神科、精神科病院などさまざまな立場から東日本大震災での経験を紹介する。いざというときのためにも、平時から学んでおきたい。



実録 家で親を看取る

著：中山庸子
発行：海竜社 TEL：03-3542-9671
定価：本体 1300 円＋税

認知症と多重のがんを抱え、在宅ケアを望んでいた父。ひとり娘の著者は、都内の自宅から両親の住む故郷・群馬に新幹線で片道 2 時間半かけて通い、介護を続けた。遠距離介護の中で感じた「人間が老いて生きるといえることはどういうことか」を、人気エッセイストがリアルに綴る。